

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより  
逢いてエ

# 雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い  
いろんな人がいるから楽しい

No. 712

2025年8月15日

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- ・「原早苗の消費者運動」②
  - ・「魔女裁判の弁護人」ほか
  - ・お便りから
  - ・山仕事(8月、笠井屋、大平)
  - ・け・い・じ・ば・ん
  - ・『続・日本軍兵士』(補・終り)
  - ・戦時体制です!
  - ・オーガニック右翼? 参政党
  - ・中国、海自艦に警告射撃
  - ・日本式「文民統制」は今
  - ・日米で学問にハンマー
- け・い・じ・ば・んは、11ページに。

ページ

2

4

8

11

13

14

19

20

22

23

26



泉ゆきを「山はいつも山頭火」  
(日本習字普及協会)

立て続けにお送りして  
ごめんください。

ほんとに、次の8月はない  
のだ。(と思ってる)

どうか、ご勘弁を。

メール配信をご希望の方は、

<suzukikosei.san@gmail.com>へ。

三宅伊都子さんが

応対して下さいます。

題 字 故 佐村隆英和尚(千葉県長柄町本光寺住職)  
カ ッ ト 故 泉ゆきをさん(にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、ムーミン。

## 山仕事(8月、笠井屋、大平)

8月5日(火)。掛川駅で、久米さんの待つ天浜線遠州森駅へ向かう康江さんと別れ、原田、山崎さんと若林さんの車に拾ってもらい、遠州灘にはど近い横須賀地区を目指す。途中、街道沿いの食堂「竹うま」で昼食。山崎さんは野菜炒め、他の3名はカツカレー(1155円)。カツにボリュームがあり、よかった。一斉、野菜炒めは……、あえて論評せず。

武ちゃん(鈴木武史さん。自称「はだしの木作人」にして、自他ともに認めるお祭男)亡き後、佳子さんが進めてきた店舗改造。新設の調理場にはソバ打ちコーナーが隣接し、与席ほどのカウンター、テーブルが2脚。その一隅には「茶碗屋」笠井屋の名残りで、若干の陶器類が並んでいる。

今回、佳子さんの注文は、庭の草取り。言っちゃ悪いが、男4人がかかるほどのことじゃない。もう一つは、座敷の回り縁(まわりばち)に亡くなった人の写真を掲げること。これは、脚立にのった原田さんを見守るだけ。

この日、群馬・伊勢崎市で41.8℃と国内最高気温記録を更新するなか、森町薄場(うすば)の久米さん宅へ。康江、久米さんも連れ立って「あらたまの湯」へ。

戻って、啓史さん、竹中さん(左膝を痛め、作業は休み)も一緒に、夕食。康江、久米さんが調えてくれた夕食は、

(タ)刺身(カツオ、ツブ貝、タイ、カンパチ)、ナスの煮付、キュウリのみぞれ和え、キュウリとシーチキンのショウが煮、アジの南蛮漬、冷奴もずく添え、キュウリの一本漬。野菜の多くは、久米さんと竹中さんが育てたもの。さらに、竹中さんから刺身の盛合せの提供もあり、豪華な夕食だった。一段と唾玉カの落ちたばかりのため、固いものは細かく切ってくれるのがありがたい。

啓史さんから、正士さんの葬儀に際して感謝が述べられ、打ち解けて話合う。通夜と告別式に参加した久米さんによると、葬儀を経て啓史さんが一段とやわらかくなったという。とかく男の子は男親に反抗するものだが、葬儀の間、多くの人から正士さんの人となりについて話すのをきくうちに、正士さんに対する思いが変わったようだ。よいこと。

夜は、男4名、久米さんが交渉してくれた公民館に移って休む。もとは、小学校の分校で、お畳ほどの教室だった部屋に、これも久米さんが正士さん宅から運んできた布団を敷いて寝る。エアコンも付いていて快適だ。

8月6日(水)、晴。早朝、ハス田に行き、竹中さんが淹れてくれたコーヒーをいただきながら、ハスの花の観賞。薄場は、これからいろいろと変わっていくさうだ。

朝食後、揃って大平へ。最初に、佐野光信さん宅に寄る。一週間ほど前、奥さんから電話があり、近くの渡辺清さん⑤も作業を頼みたいとのこと。初めて佐野さんの自宅に向ったが、玄関先の柱がオンコ(イチイ)の銘木なのでおどろく。玄関も立派で柱も太い。

渡辺さんの家を教えてもらい、皆で伺う。9月で80歳になるという渡辺さん。以前は何でもやれたが、病気になる、医師から止められたという。今回は業者に頼んだが、料金がかさむので次から頼みたいと。

午前、正士さんの家まわりの草刈り。②

終って昼食。

(昼) とうもろこしをキュウリとカニ缶とトマトのつゆで、ナス辛味漬、ナスとカボチャの揚げ浸し、キュウリの一本漬、ゴーヤの佃煮。

知世子さん(正士さんの妹さん)から美味しいスイカが。

⑤(必) 猫のチの旨いへ

冷蔵庫に少しですが、

スイカ 有 食べて下さい

野菜

いつも気にかけていたにき

ありがとうございます、知世子



午後は二手に別れる。原田、山崎さんは東垂れ③道路沿いのソツジの刈り込み。若林さんとぼくは、佐野さんの道路際(崖と合点)の草刈り。これは早く終り、ソバ畑④の草刈り。若林さんの草刈り機が不調で、2割ほど刈ったところで止め、皆で「あらたまの湯」へ。

戻って夕食。少し遅れて竹中さんが見える。

(夕) ミナミマグロのかま煮、豚キムチ、エビとキノコと卵のケチャップ和え、春雨サラダ、厚揚げ焼、ショウガのせ。

夜は、男4名公民館へ。

8月7日(木、くも)。若林さんは、昨日不調だった草刈り機の修理などで隣り町の「山福」へ。残る3名でソバ畑の草刈り、1時間ほどで終る。

(昼) 夏野菜とホタテのカレー、キュウリとナスと卵のサラダ。

昼食後、遠州森駅で久米さん若林さんに見送られ帰宅。

今回、大平と薄場の違いを感じた。正士さん宅のある大平地区は、ほとんどの家が高齢、病気などで自力で家のまわりの世話ができてなくなっている。

一方、薄場は、戸数も30戸ほどと多く、自治会の組織もあり、活気がある。

今後は、大平のような地域が増える一方だ。そういう地域を元気にするため、マチの人々が協力できる施策があるといいのだが。

### ◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 9月2～4日    | } 静岡・磐田市及び森町周辺で、<br>交通費自弁<br>会費3000～5000円。 |
| ② 10月21～23日 |  |
| ③ 11月25～27日 |  |
| ④ 12月9～11日  |  |